

## E41東海北陸自動車道 内装板撤去時における指負傷事故

【発生日時】 2023年7月21日（金） 10：00頃

【区間・位置】 E41 東海北陸自動車道 下り線 権現山TN内

【作業内容】 2023年東海北陸自動車道 管内維持修繕業務

【受注者】

【事象概要】 東海北陸自動車道（下り）権現山TN内の内装板（タイルパネル）撤去作業において撤去したタイルパネルをトラック荷台に積込む際に右手中指の先端を挟み負傷したものの。

【被害状況】 物的被害：なし

人的被害：右手中指（指尖部）の骨折

【時系列】

7月21日（金） 10：00頃 タイルパネルをトラック荷台に積込む際に右手中指の先端を挟んだが軽微なケガと思い作業を続行した。

7月29日（土） 指の腫れが引かないので病院に行き診察をうけ、右手中指（指尖部）先端が骨折しているとの診断を受けた。その際、外仕事をしているが仕事をしてもいいか聞いたところ、重いものを持たなければ良いと言われ次回は1週間後を目途に診察を受けてほしいと言われた。

8月7日（月） 雨天の為現場仕事が中止になったので有休を取り病院に行くことにした。その事を同僚に伝えたところ同僚が会社 〇〇〇〇に報告した。  
15：00 〇〇〇〇の会社に報告したが詳細不明

8月8日（火） AM 詳細が分からなかったため、本社の連絡も保留していた。  
PM 概要が分かったため本社に連絡。

8月9日（水） 詳しい内容が分からないままだったが報告することにした。  
14：30 メンテ 〇〇〇事業所に事故報告  
16：00 メンテ本社に事故報告  
16：25 〇〇〇HCSに事故報告

8月10日（木） 16：00～ 緊急安全会議  
小集団活動（原因と再発防止策）

【公表・非公表】 —

【報道等】 —

## 【事故の原因】

- 1) 重量物のタイルパネルを手で持ち上げて当て木を抜き取ることをしていた
- 2) 一人で当て木を抜き取る作業をしていた
- 3) 挟まれる恐れがある箇所に手を入れて作業していた
- 4) タイルパネルをトラック荷台に積込む際の作業手順書が明記されていなかった

## 【報告の遅れの原因】

- 1) 軽微なケガと思い込みそのうち治るだろうと思い報告をしなかった
- 2) 1週間後に病院に行き骨折が分かったが、日にちが立ちすぎている為今更報告すると同僚と会社に迷惑が掛かると思い自分から報告できなかった。
- 3) ████████が報告が遅れた原因は事故から2週間経過している事、事故から1週間後に病院に行っていることなど疑問点があり再度詳しい内容の確認を求めたが返答がなかった。

## 【まとめ】

### 事故の対策

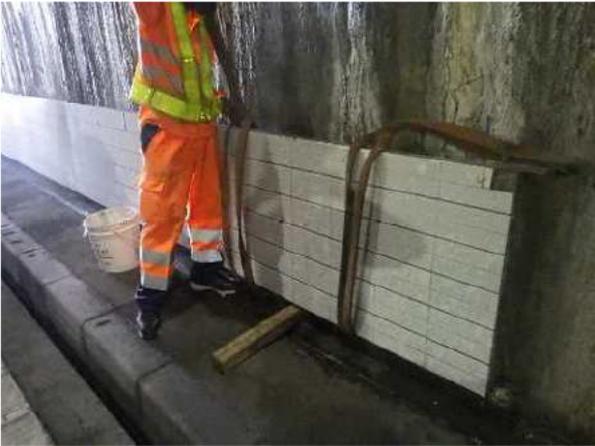
- 1) 当て木を抜く際もそうだが2人で作業する
- 2) 重量物の当て木を抜く際はバールなどでこの原理で隙間を開け抜く
- 3) 手や足を挟まれる箇所に入れない
- 4) 作業手順書にタイルパネルを積込む詳細な手順を明記する

### 報告の遅れの対策

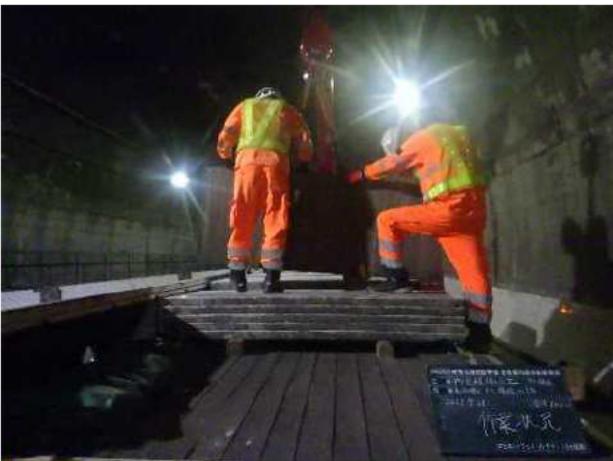
- 1) 事故報告の重要性を安全会議、工程会議(週1回)、朝礼、新規入場者教育などで周知する
- 2) 巡視(週3回程度)、安全パトロール等を利用し作業員の状況を確認し声掛けを行う
- 3) 些細な事でも上司、会社に相談、報告する習慣をつける
- 4) 怪我や事故は個人で判断しない事を周知する
- 5) 作業員同士のコミュニケーションをとる
- 6) すでに事故から2週間たっているので詳細が不明であってもある程度確認が取れた段階で報告する体制を確立する



① 現況



②撤去するタイルパネルにスリングを掛けます



③クレーンにてトラック荷台に吊り上げます。

④タイルパネルを下し6枚で1組のように重ねていきます。



⑤タイルパネルから当て木を抜きます  
この時に指を挟み負傷した

## 【小集団活動 意見集約】

### ①今回の事故の原因

- ・一人作業であった
- ・次のタイル撤去の事も考えていた
- ・作業方法に問題があった
- ・置き方に問題があった
- ・作業に慣れが出ていたのではないか
- ・重量物なのに人力で行っていた
- ・気持ちの焦りがあったのではないか
- ・当て木を抜くときに道具（パール）を使用しなかった
- ・KYミーティングで危険の余地が出来なかったのか

### 今回の事故の対策

- ・役割分担を決めた上で複数人で作業する
- ・慎重さが足りていなかった。一枚ずつ焦らず作業する
- ・パールを使用し当て木を抜く手順を追加する
- ・最上部に置くタイルを少しずらして、手を挟まない空間を作る
- ・順積みしない、互い違いにする
- ・持ち手位置の確認
- ・手を挟まれる恐れがある箇所に手を入れない
- ・作業時間に余裕を持つ
- ・責任者が安全確認を行う。
- ・手を挟みそうな作業は道具（パールなど）を使用する
- ・現場の確認を全員で行う

### ②報告が遅れた原因

- ・軽微なケガと思い込み報告する必要性が無かった。
- ・普段通り作業を行えたため病院に行くのが遅れた。
- ・事故報告を行いつらい環境ではなかったか。
- ・怪我、事故発生時の対応を共有できていない
- ・事を大きくしたくないという思いがあったのではないか
- ・怪我をすることにより仕事ができなくなり、会社や同僚に迷惑をかける
- ・怪我にしてもヒヤリハットにしても報告は必要である。
- ・病院に行った日が怪我をしてから1週間後だったので言いづらかった
- ・一人作業になっていたのでは他者が気づけなかった

### 報告をするには（対策）

- ・軽微なケガでも報告する（自分で判断しない）
- ・朝夕の体調確認などしっかり行う。
- ・報告しやすい人に早期報告する
- ・痛みがあれば即報告する
- ・報連相ができる環境を作る
- ・些細な事でも相談、報告する習慣をつける